

令和6年度 川西市 認知症地域支援推進員活動報告

1 認知症地域支援推進員：8名（各包括に1名ずつ専任の推進員を配置）

2 認知症地域支援推進員の役割

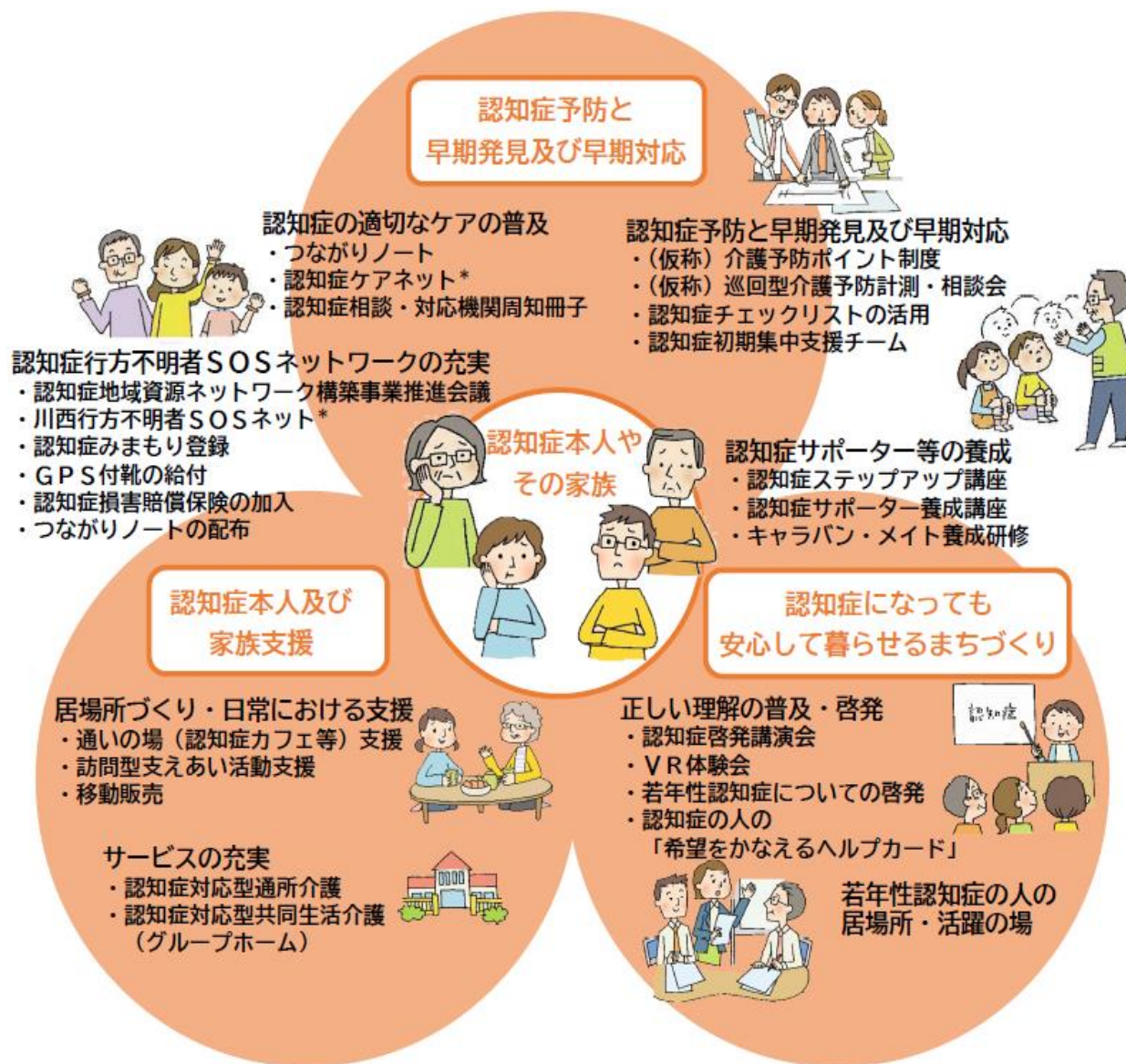
『本人視点を重視し、認知症の人及びその家族に対する支援体制等の強化を図る』

- （1）地域の認知症ケアの向上を図るための取り組みを関係機関と連携、協働して推進する。
- （2）認知症の人が、住み慣れた地域で生活を継続できるよう、認知症の容態に応じ、必要な医療、介護及び生活支援を行う機関と連携し、必要な支援を行う。
- （3）医師会や認知症サポート医や認知症疾患医療センターの専門医等との連携
- （4）川西市認知症地域資源ネットワーク構築事業推進会議との連携体制の構築
- （5）認知症カフェとの連携、運営支援
- （6）川西市認知症初期集中支援チームとの連携及び支援
- （7）「認知症対策アクションプラン」の具体的施策実施への支援
- （8）チームオレンジコーディネーター兼務
- （9）地域で暮らす認知症の人やその家族の支援ニーズを把握（本人ミーディングの場の設定）
- （10）若年性認知症について、兵庫県の若年性認知症支援コーディネーターとの連携及び支援
- （11）その他

報告者氏名: 東谷地域包括支援センター 篠崎善之

川西市福祉部介護保険課中央地域包括支援センター 田上美由紀

川西市 認知症施策全体図



生活安寧指標を使って
認知症本人が望んでいることを聞き取る。

○どのように過ごしてきたか、その方の「らしさ」を知る。

○「～したい」と思うことを把握できる。
(認知症になって以降諦めているようなこと)

認知症介護肯定感尺度を使って
ご家族の思いや、悩み、希望を表出。

○介護者自身が今までの介護を振り返る中で、
悩んでいたこと、支援を受けたかった内容などを把握できる。

○介護者が希望している内容を聞き取ることができる。

当事者の意向、希望の聞き取りを踏まえた、取り組み。

コーヒーが好きで、
いつも通っていた
喫茶店へ行きたい。
ずいぶん行ってないわ。



他にも、私と同じような
経験をしている方(介護者)はいますか？
どのように介護されているのか聞きたい。

同じ思いをしているご本人、ご家族が他にもたくさんおられた

認知症ご本人と、家族介護者が
一緒に参加できる場所をさがす。

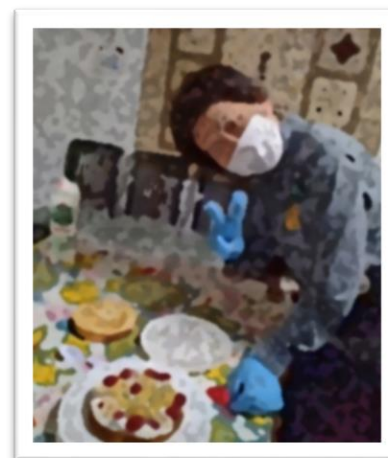
行きつけだった喫茶店の店主へ交渉



当事者の意向、希望の聞き取りを踏まえた、取り組み。

安心して参加できる環境をつくるために4つのことを大切にしています。

- ・対話重視であること。
- ・参加者の誰ひとりとして傷つくことがないように配慮すること。
- ・当事者の方々からの希望に基づくこと。
- ・参加者同士がつながり、共感し合える場であること。



最後に・・・

「大好きなコーヒーを行きつけの喫茶店で楽しみたい」という認知症ご本人の希望と
「他の家族介護者の人(同じ境遇の方)から話を聞きたい」というご家族の希望の具体化を試みた1年。

回を重ねるごとに、少しずつ参加者が増え、つながりが広がりつつあります。

認知症当事者(家族含む)の立場になると、他者との交流機会が減り孤立化する傾向にあります。

この孤立化を防ぐための策の一つとして、この会の継続に取り組みます。